

ポリエチレン管の水圧試験の際

管が熱い状態や、水温が高い状態で

試験をしないでください。

実例

1.75MPa×2分
の水圧試験実施。
延性破壊発生。

真夏の炎天下
で水圧試験実施



写真のように、破裂部位が膨らみ破壊することを延性破壊といいます。一般的に、管の耐圧性能を超えた過剰な圧力を掛けた時に見られる破壊形態です。

管の温度や、水温が高くなってしまいう環境下では、
通常では破壊しないような圧力で
延性破壊が生じることがあります。

解説



一度通水して管を冷却してください。
管に土を少し被せる 若しくは 遮蔽シート
などをかけて、管に熱が加わらないように
して下さい。



管は直射日光を浴びると、僅か十数分で約
60℃まで上がり、管内の水は50℃を超え、
お湯となり、耐圧性が大きく低下します。